



## 校長室だより

月立小学校 校長 村上克弥  
平成30年5月30日  
☎55-2260 第2号

### 教育目標

ふるさとに誇りをもち  
夢と希望に満ちた  
心豊かでたくましい児童の育成



## 見えない根の働き～感謝の気持ちを表す～

新緑から青葉へ、目にも鮮やかな緑が心を和ませてくれます。4月に入学した1年生も上級生に交じって休み時間は元気に遊んでいます。上学年が遊びの相手をしてきている姿は微笑ましいものです。

ところで、5月の第二日曜日は「母の日」でした。母の日の由来は、今から百年ほど前、アメリカのウェストバージニア州に住むアンナさんという人が、たまたま5月の第二日曜日が母の命日だったので、「母の愛情」を意味するカーネーションを沢山持って教会に行き、礼拝にきていた人たちに配ったことから広まったと言われています。普段、お世話になっている人たちに感謝する心は誰にもあるものですが、なかなか改まって表すことは苦手なものです。まして、世話してもらうことが当たり前となっているとなおさらです。身近すぎるほどぞんざいな関係になることは珍しくありません。

相田みつをさんの詩に、次のようなものがあります。

「花を支える枝、枝を支える幹、幹を支える根、根は見えねえんだな」



樹木の枝や幹や根は、きれいな花を咲かせるために必死に風雨に耐えて支えています。とりわけ、地中深く張り巡らせて木全体を支える根の役割は絶大です。しかも、外からその存在は見えません。見えないところで活躍し、支える役目をしている根の働き。人間も同じように、陰になって支える人がいることで、何不自由なく生活できていることを忘れてはなりません。

子どもにとって、お父さんやお母さん、そして家族の役割はまさに根の働きそのものです。「母の日」「父の日」「敬老の日」といった特別な日だけでなく、普段から感謝する心を育てていきたいものです。また、親御さん自身もこの役割に使命感と誇りを持って努めてほしいと思います。支える幹や根の太さ、丈夫さは、人言えば愛情の深さです。深い愛情によってこそ、子どもの確かな成長が図られます。愛情いっぱい育てられた子どもは、必ず感謝の心も備わっていきます。

## 運動会ありがとうございました。

今回の運動会で一番強く感じたのは「地域の活力」「子どもの活力」「保護者の活力」です。本当に、保護者の皆様、地域の皆様には運動会にご参加、応援いただきありがとうございました。教職員一同、感謝申し上げます。



ます。さて、子どもたちはこの日に備え、一生懸命練習に励んできました。入学して2ヶ月の1年生。小学校生活最後の運動会だった6年生まで、どの学年もとてもよくがんばりました。それぞれの演技に真剣に取り組む子どもたちの姿に、感動を覚えました。

学校の教育活動として、運動会を行う国はそう多くはありませんが、その目的は『運動の楽しさ』を味わうこと、『協力すること』や『最後までやりきること』の大切さを学ぶことなどです。

PTA・地域の皆様には、当日の準備、片付けなどの仕事、準備等のお手伝い。そして、綱引き等の競技に参加していただきました。本当にありがとうございました。お陰様で、素晴らしい運動会を行うことができました。

今後とも、本校の教育活動へのご支援とご協力をお願いする次第です。